

女性チャレンジ応援拠点だより ²⁰²¹ 5月

〇〇〇〇 コラム【薫風五月、新年度本格稼働！】〇〇〇〇

令和3年度が本格的に動きだしました。「女性チャレンジ応援拠点」も、新しいイベントやメニューを順次ご案内してまいりますので、どうぞご期待ください。

さて、「with コロナ」も2年目、社会的な試練はまだまだ続いていますが、「新しい常態・ニューノーマル」は徐々に整ってきました。いずれマスクは外せるようになって「元に戻る」ことはありませんから、わたしたち個人も各々の新しい常態を創っていきたいものです。

そこで今回からは『**チャレンジする人のニューノーマル**』をテーマに毎月お届けすることにいたしました。

その第1回目、5月は「まずは〈わたし自身〉を見直すことから始める」です。

今さらですが、「見直す」の意味は、「もう一度あらためて見る、その結果気づいた欠点を是正する。それまでの認識をあらためる」です。これを〈わたし自身〉にあてると、「自身の本領や才覚、やり方や考え方にシビアな目を向け、品定めして、今後に備える」となるでしょうか。

ただ、自分のことは自分で見えませんので、人の目にどう見えているかもプラスして見ないと不備が出そうです。まだ付き合いの浅い友人や知人、仕事の仲間、人生の先輩などに、あらためて尋ねてみると意外な答えが返ってくるかもしれません。

「知り合って半年ぐらいの人から、いずれわたしが高層ビルの最上階で腕組みをしながら下界を眺めているイメージがあると言われて、わたしてどんな風に見えるんだろうとびっくりしたことがあります」という女性もいました。身近な人たちに尋ねてみるだけでなく、専門的な視点から助言をもらえるような人の意見を聴くことも大事です。

そのうってつけは、手前味噌ですが、当「女性チャレンジ応援拠点」です。フリースペースで予約なしで相談いただけるので、定期的に通ったり、折々に自分を「見直す」ために来室したり、ちょっと聞きたいことができたことに立ち寄りたりと、ご利用に際しての自由度は公的な支援機関の中ではピカイチだろうと自負しております。

わたしたちは今、社会の大転換点に立っていますが、恐れると思考停止状態になりかねません。むしろ、既存の枠にとらわれずに事をなせる好機ととらえたいものです。フランスの数学者が『あらゆる情報を集める限り集め、一旦決定を下してしまえば、今度は自己成就の効果が期待できる』と励ましてくれます。

とにもかくにも、先に「女性チャレンジ応援拠点」を利用されるのもお勧めです。緊急事態宣言中は、電話やメールでのご相談となりますが、みなさまの「ニューノーマル」に備えられるよう努めつつ、ご利用をお待ちしています。

〇〇〇〇 休室のお知らせ 〇〇〇〇

緊急事態宣言の発出にともない、令和3年4月27日より5月11日までは、来館による相談を休止しています。期間中は休室日以外の通常の開室時間帯にて電話で相談をお受けします。メールでのご相談もお受けしますが、返信に時間を頂く場合があります。みなさまにはたいへんご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話＆ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
日、月、祝日、祝日の翌日は休室

【電話対応時間帯】

火曜日（4/27、5/11）10:30～12:30
金曜日（5/7）10:30～12:30
土曜日（5/1、5/8）13:00～15:00
※4/28（水）は電話・メールとも休止

